

## 活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第59号

-2018年9月-

発行 神奈川県青少年指導員  
連絡協議会  
発行者 市丸 克己  
連絡先 045-210-1111(代)  
神奈川県青少年課内  
印刷 文明堂印刷(株)横浜営業所  
045-731-1441

## 第26期理事あいさつ

平成30年度第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会(平成30年5月22日開催)にて選出された、役員の皆さんをご紹介します。

## オープンな関係を目指して

県協議会 会長 市丸 克己(相模原地域)



このたび、第26期会長に選出されました、市丸克己です。まだ不慣れなところも多々ありますが、副会長、理事の皆様のお力を借りながら一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、会長になって最初の大きな任務として、5月に委員総会を開催し、各地域の皆様と意見交換をさせていただきましたが、「イベントに子どもが集まらない」「指導員が定員に満たない」との切実な声が多数寄せられました。こうした背景として、核家族化や少子化の進行により、家庭のライフスタイルが変化し、地域の活動に対する意識や関わり方が変遷してきていることが挙げられます。そのような中、広報の方法を変えてみたり、イベントの内容を見直したりして参加者を増やす工夫をしたり、指導員が参加しやすいよう会合の日や時間を工夫するなど、とても参考になるお話を聞くことができました。

今後も、皆さんの声を吸い上げ共有していけるよう、フラットでオープンな関係を築いていきたいと思ひます。青少年指導員の活動を一人でも多くの方に理解してもらえよう、大きな声をさらに張り上げ、積極的にPRしていきたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 青少年指導員活動の思い

県協議会 副会長 柳澤 直人  
(横浜地域)

この度、県の副会長となりました横浜地区の柳澤です。私が青少年指導員となって29年目となりました。

最初は地区の運動会やインディアカ大会や映写会などの行事のスタッフとして先輩の指示に従って動くだけの日々でしたが、これらの行事に参加してくれた子どもたちの笑顔が見られることが楽しみでした。現在は地区の行事だけではなく区の行事を主宰する立場となりましたが、今でも参加してくれた子どもたちの楽しそうな笑顔を見るのが青少年指導員活動の励みとなっています。

今期も県内の子どもたちが楽しく過ごせるように皆さんと活動していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

「子どもたち、  
私たちの笑顔!!」のために県協議会 副会長 中野 隆則  
(県央地域)

副会長の中野です。よろしくお願ひ致します。

昨年は青少年指導員制度50周年を迎え、諸先輩達の思いを継承しながら、新たな一歩を皆様と歩みたいと思ひます。スマホ・インターネット等の情報

手段の急激な普及と発達により、大人や異世代との人間関係が希薄になり、大人になる大切な挨拶・コミュニケーション等がうまく出来ない子どもが増えています。

私たちは子どもたちが安心・安全に暮らせる「見守り」、地域のお祭り・イベントなどでの「ふれあい」、色々な活動を通して大人と子どもの仲間になる「きずな」のために、皆様と活動したいと思ひます。

## 地域の中で信頼される大人に

県協議会 理事 **霜越 儀一**  
(川崎地域)



川崎市を代表して第26期の理事を務めています。

どうぞよろしくお願い致します。

さて、私たちの活動も、情報技術の発達で子どもたちの様子がわかりにくくなってきています。様々な団体の皆様との情報

交換をより多くし、地域の大人が子どもたちと出会う機会を増やすことが大切だと思います。今重要なのは、『地域の中で信頼できる大人』を子どもたちが必要としているということです。

問われる大人の役割、子どもを主役にできる環境が大事だと思います。

今後とも皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 地域との連携

県協議会 理事 **織田 俊美**  
(横須賀三浦地域)



第26期、横須賀三浦地域から理事となりました織田です。よろしくお願ひします。

最近、特にネットによるいじめや犯罪に巻き込まれたり、依存症になったりするようなケースが多々あります。ITの進化は日進月歩で、私たちが追いつ

いていくには大変な時代です。

子どもたちとの会話や繋がりを通して健全育成、そして非行・被害にあわないよう取り組んでいきたいと思ひます。

また、他の青少年育成団体と連携しての見守りが、犯罪を未然に防ぎ、あるいは抑止効果になると考えています。

私たちの活動を、より多くの人たちに知って頂けるよう地域と学校と家庭との連携も大切なことだと思ひます。

## 地域のつながり

県協議会 理事 **山口 晴美**  
(湘南地域)



湘南地域の理事を務めます秦野市の山口です。昨今、青少年がまきこまれる非行や犯罪、ネット社会によるいじめや勧誘、また肉親によるネグレクトや暴力といった、耳を疑う痛ましい報道に毎日接します。

こういった厳しい環境の中、

青少年指導員は、子どもの健全育成を目指す活動の中核を担ってきました。

湘南地域の5市3町でも子どもたちに今しかできない体験を提供するべく、様々な独自活動を行ってきています。

今後、さらに連携を深め、地域全体で情報を共有して行事を展開することができたらと考えております。

どうか、皆様方のご協力をお願いいたします。

## 最近気になること

県協議会 理事 **杉本 聡**  
(県西地域)



この度、県西地域より理事になりました小田原市の杉本です。県西地域と他地域がスムーズに情報交換と交流ができるよう、また県とのパイプを上手くつなぐことができるように努めますのでよろしくお願い致します。

最近気になることは、やはりインターネット利用に関わる問題です。地域でいろいろな会議に出席すると必ずその話題になります。自分の子どもが中高生の時には関心がありましたが、現在こんなに深刻な問題になっているとは、つい最近まで想像できませんでした。私たちも勉強し、子どもたちが犯罪に巻き込まれないように活動していきましょう。



## 地域で育てよう！ 青少年。

県協議会事務局

県青少年指導員連絡協議会では、青少年指導員の存在や活動を広く県民に知っていただくため、「地域で育てよう！ 青少年。」をキャッチコピーにPRを行っています。

地域のイベントやキャンペーンでキャッチコピー入りの「のぼり旗」を掲げて活動をアピールしたり、県のホームページや保護者向けのチラシに地域で青少年指導員が活動していることを掲載しています。

皆さんも日々の活動で、青少年指導員の積極的なPRをお願いします。

# 青指一丸となつて50年の歴史を祝う

## ～神奈川県青少年指導員制度50周年記念大会～

平成30年3月11日、神奈川県青少年指導員制度発足50周年の節目を記念し、約1,500人の関係者が一堂に会し、横浜みなとみらいホールにて、「神奈川県青少年指導員制度50周年記念大会」が盛大に開催されました。

オープニングでは、陸上自衛隊高等工科学校ドリル部による一糸乱れぬ迫力ある演技と、横浜市立樽町中学校文化部有志による美しい合唱で、会場の皆さんを魅了しました。

式典では、冒頭で、東日本大震災で犠牲になられた方々への黙とうを捧げました。その後、主催者である神奈川県青少年指導員連絡協議会会長、神奈川県知事、横浜市副市長から、青少年指導員の皆様の日頃の活動への感謝や、大会運営に尽力された方々への御礼が述べられました。また、神奈川県議会副議長様を始め、多くのご来賓を賜り、お祝いの言葉をいただきました。

記念講演では、元NHKエグゼクティブアナウンサー国井雅比古氏を講師に迎え、「プロジェクトX “挑戦者たちの素顔”」をテーマに、番組制作を通じて出会い、印象に残った方々のエピソードについて、熱く語っていただきました。

フィナーレは、陸上自衛隊高等工科学校ドリル部・横浜市立樽町中学校文化部有志、大会運営スタッフも加わり、会場の皆さんと一緒に「若いつてすばらしい」を合唱し、閉会となりました。

この式典の開催にあたっては、青少年指導員を中心に企画・準備を行い、全力で取り組みました。式典を通じ、青少年指導員相互の意識の高揚を図るとともに、青少年指導員の存在を県民に広くアピールすることができました。関係者の皆様に、心から感謝いたします！



フィナーレは、会場全体で「若いつてすばらしい」を大合唱

## 青少年保護育成条例の改正について

### 青少年のスマホには フィルタリングを

青少年インターネット環境整備法が改正され、青少年が使用するスマートフォン等を購入する際は、保護者の申出がない限り、店頭でフィルタリングを設定しなければいけません。また、県では、フィルタリングの普及を一層強化するため、青少年保護育成条例を改正し、同法に基づく保護者の申出は、保護者が責任を持ってフィルタリングを設定する旨を記載した書面を提出するよう定めるなど、所要の規定整備を行いました。

フィルタリングとは、違法・有害なサイトの閲覧を制限し、インターネットの危険から青少年を守る機能です。青少年指導員の皆様からも、青少年や保護者にフィルタリングの設定を呼びかけてくださるようご協力をお願いします。



### 「JKビジネス」から 青少年を守る！

県は、青少年保護育成条例を改正し、青少年の性を売り物とする「JKビジネス」等の営業を「有害役務提供営業」と定義付け、青少年を客に接する業務に従事させ、又は客とすることの禁止など、一定の規制を課すこととしました。(平成30年10月1日より施行)

#### 有害役務提供営業の例

- ・水着やレオタード、露出の高い姿等で主に異性客を接客する営業【「水着バー」等】
- ・「添い寝」「膝枕」など、主に異性客に体を接触させる営業【「リフレ」「エステ」等】
- ・主に異性客と会話又は遊興を行う営業【「コミュニケーション」「散歩」等】

有害役務提供営業に該当するお店を見かけたら、県青少年課(045-210-3848)に情報提供をお願いします。詳しくは [神奈川県 JKビジネス](#)

# ネット社会のあり方について青少年とともに考える

## ～平成30年度 青少年の健全育成を進める県民大会～

平成30年7月7日(土) 相模原市杜のホールはしもとにおいて、「社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり」をテーマに開催されました。

### ◆オープニング

大会は、県立上溝高等学校の生徒の司会で進められ、県立弥栄高等学校の吹奏楽による演奏で始まりました。迫力満点で力強くすばらしい演奏が大変好評でした。



オープニング

### ◆基調講演

ジャーナリストの石川結貴氏を講師に迎えて、「ネット社会を生きる子どもたちとどう向き合うか」をテーマに、講演をいただきました。

石川氏は講演の中で、

- ネット・スマホの急速な普及に伴い、SNSを通じての見知らぬ人との交流、ゲームや動画の長時間視聴、不確かな情報の拡散などの実態があり、そこにはやめられない「仕組み」がある。
- ネットの利用には、不特定多数の人と交流できるアプリ、深刻化するSNSいじめ、自撮りなどの危険性が潜んでいる中で、取材する子どもたちの多くが、孤独を感じ、自己肯定感が低くなっている。貧困、虐待、親の無関心、地域からの孤立などの問題を抱える子どもも増えてきているが、身近な大人が受け止め切れていない現実がある。
- 子どもたちの実態、心情を理解し、真に彼らを支えるために、子ども自身にネットの問題について考えさせ、役割と責任を与え、失敗を認めるとともに、大人自身の言葉で自分の人生について語ってほしい。

と語られました。

### ◆パネルディスカッション

県立上鶴間高等学校の塩浦健吾校長、相模原市青少年指導員連絡協議会副会長の齊藤一城氏、光明学園相模原高等学校の2名の生徒をパネリストに迎え、「ネット社

会で大人にできること」をテーマにして石川氏の進行により行われたパネルディスカッションでは、教員、地域で活動する社会人、青少年それぞれの立場からの発言がなされ、活発な議論が行われました。

○青少年パネリストからは、

- ・ ネットでは便利であるが、反面、全てがネットまかせになってしまう面がある。
- ・ ネットでのトラブルなどに対して、自分の意見を否定せずに最後まで聞いてくれて、一緒に真剣に考えてくれる人は信頼できる。
- ・ 大人と子どもが一緒になってインターネットの使い方を考えていければと思う。
- ・ 私たちはネット上に人間関係の解決を求めがちだが、現実社会の中で居場所が見つかるように、大人にはそのヒントをもらいたいし、その思いを支えてほしい。

○塩浦校長からは、

- ・ 高校ではほとんどの生徒がスマートフォンを所有しており、それに伴うトラブルも増加している。
- ・ 今後もネット社会は更に進展していくので、明確なルールを定めることが大事。子どもたちに正しい道筋を示してあげるのが大人の責任であり、子どもたちの話をきちんと聞くことを意識しながら、学校でもしっかりと教育していきたい。

○齊藤氏からは、

- ・ 今の子どもたちは、人付き合いが苦手な面があり、地域での活動の際には、子どもたち自身が企画し、共同作業で完成させ、互いにコミュニケーションを取れるようにしている。
- ・ ネット社会では情報収集がすぐできるが、努力して得たものや人と人とのつながりの大切さを伝えられるように今後も活動していきたい。

○最後に、石川氏から、

- ・ 大人が綺麗事で説教をしたとしても、それだけでは子どもたちには通じない。子どもと大人がお互い知恵や力を出し合って新しい社会を築いていくことが、双方にとって最終的にはいい形なのではないかと思えます。

と発言がありました。



パネルディスカッションの様子

# 青少年センターからのお知らせ



青少年にかかわる人のための

## 「困りごと」ヒント集



無料配布しています!

神奈川県青少年指導者養成協議会

神奈川県青少年指導者養成協議会では、毎年専門部会を設置し、青少年活動で活用することのできるプログラム集やイラスト集などを作ってきました。29年度は、少し趣を変え、指導者のみなさんが現場で直面するさまざまな「困りごと」をピックアップし、その対応策や解決方法についてみんなで考えることのできるような冊子を作成しました。

困りごとは<イベント編><キャンプ編><子ども施設編><スタッフ・ボランティア編>の4つのカテゴリーに分け、それぞれの分野の専門家に、その対応策を尋ねています。

タイトルにヒント集とあるように、これはダイレクトな解決策を提示したものではなく、解決の糸口になるような考え方や、青少年とかかわる際のスタンス、心構えのようなものを提案した内容になっています。これから子ども・若者に関わろうとしている方や比較的経験の浅い指導者の方をおもな対象としていますが、職場研修やスタッフミーティングの題材として活用いただくことも想定して作成をしました。

青少年活動に携わる方に無料で配布しています。詳しくは青少年センター指導者育成課まで、お問い合わせください。

## 演劇の手法を、青少年活動の活性化につなげる ★演劇活用青少年支援事業★

青少年指導員  
セミナーでも  
実施しました!

青少年センターは、体験学習を推進する人材の育成（指導者育成課）、ひきこもりや不登校への対応（青少年サポート課）、科学体験活動の促進支援（科学支援課）、舞台芸術活動への支援（ホール運営課）という4つの柱で事業に取り組んできた、多機能施設です。館内には800人収容のホールや多目的プラザがあり、青少年による演劇やダンス活動の拠点ともなっています。

今年度、指導者育成課では、青少年センターの機能強化の一環として、演劇的な手法をとり入れた支援・指導者育成事業に取り組んでいます。演劇には、「相手との間合いやタイミングをたえず意識する」「他者を演じることにより自己や他者を深く知る」「言葉だけでなく身体感覚で表現する」「相手の演技を受けて即興で物語をつくっていく」等々の活動をとおして、コミュニケーションについて考えたり学んだりする要素がたくさんあります。それらを上手にとりいれて、青少年活動の活性化につなげていきたいと考えています。今年度は青少年指導員セミナー、ユースリーダーズセミナー、体験学習プログラムセミナーで、それぞれ演劇的手法をとり入れた研修を実施しています。

### インプロワークショップ

インプロとは台本のない即興劇のことで、役者のトレーニングのために開発された多くのインプロゲームは、コミュニケーション能力の向上に高い効果があるとされ、教育現場や企業研修など、さまざまな場面で活用されています。



【体験学習プログラムセミナー】  
インプロワークショップ



# SAKAEヤングフェスティバル

横浜市栄区青少年指導員協議会 会長 伊藤 元秀

栄区青少年指導員協議会は主要事業として、毎年3月下旬の日曜日にSAKAEヤングフェスティバルを開催しています。このイベントは、区内の中学生と青少年指導員がステージや模擬店の企画から運営まで携わって実施し、来場者数は1万人に及びます。SAKAEヤングフェスティバル実行委員会主催のもと、栄区青少年指導員協議会が主管、栄区役所が共催となって平成3年から開催しており、今年で27回目となりました。現在では、本郷台駅前広場を会場に、栄区の各中学校の生徒と各地区の青少年指導員が一体となって活躍し、区内の青少年の健全育成や地域との交流に結び付く事業となっています。

ステージには、吹奏楽をはじめ、ダンスやチアリーディング、ソーラン節など、華やかなプログラムが数多く並び、来場者の皆さまから大変好評です。模擬店も、焼き鳥や綿菓子などの定番のものから、春巻きやタピオカ、ワッフルといったものも扱い、バラエティに富んでおります。

また、平成25年からは会場に隣接する本郷台駅前道路を使用して、区内中学校による栄区中学校対校駅伝大

会も同日開催するようになり、当日は「中学生が主役の一日」として本郷台駅前が盛り上がります。駅伝大会の表彰式もヤングフェスティバルのステージにおける1コマとして位置付けています。

来年も、同時期に開催を予定しています。次回も素晴らしい開催とするために、栄区青少年指導員協議会一同頑張ります。



SAKAEヤングフェスティバル 2018 ステージの様子

## 地域活



# 1 + 1 = ∞ (無限大)

南足柄市青少年育成推進員協議会 会長 吉澤 誠一

南足柄市青少年育成推進員協議会は、平成22年に青少年指導員協議会と青少年補導員協議会が合併して発足した経緯もあり、補導活動も活発に行っています。市内3つの中学校区から自治会推薦を受けた人や中学校・高校の教諭など41名で活動しています。指導、補導、ジュニアリーダーズクラブ（以下JLC）育成を軸に、地区活



PAA21 みんなの成果

動と、成人式のサポートや金太郎まつり特別パトロールなどの全体活動を行っています。

南足柄市でも子ども会の活動休止、市のイベントの減少など、子どもたちと接する機会が減少する中、「地域のちよっとお節介なおじさん・おばさん」として日頃の声かけから、市内イベントへのボランティア参加、工作指導などを通じて、子どもたちの「体験するきっかけ」をサポートしています。

また、全体活動として、JLCの育成にも力を入れておりますが、参加者の減少が悩みの種となっています。そこで、JLCの子どもたちの「基礎力を向上させる」ことを目的に、PAA21（プロジェクト・あしがら・アドベンチャー 21）での研修を採用しました。最初は照れてなかなか声を出せないでいた子どもたちも、ファシリテーターから出される課題の解決方法をみんなで考え、力を合わせ、周囲に気配りして失敗しながらも課題を一つひとつクリアして、最後の難関をみんなで達成してみんなで喜び、「1 + 1 = ∞」となることを体感しました。自分に自信を持って自主的に活動できる姿が周囲に波及して、将来の大きな力となることを望んでいます。

横須賀  
三浦

# カレーの街のウォークラリー

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会

横須賀に住みながらも、訪れる機会がなかったり、気付かずに通り過ぎていた史跡や景勝地もあります。少しの時間、足を止めると地域の良さを発見できることもあります。

12月9日(土)『第12回中学校対抗ウォークラリー大会』を開催しました。昨年は「大楠山の自然を感じる街、池上を歩こう!」をキャッチフレーズに17校43チーム、221名の生徒、スタッフとして青少年育成推進員と地域協力会の方々126名の総勢347名が参加し、池上中学校の吹奏楽部の演奏に送られ10時から順次スタートしました。

さて、ウォークラリーの楽しみの一つは、何といても、昼食でしょう。今回、昼食を準備している調理室をのぞいてみました。室内に入ると湯気が立ち込める中、育成推進員、地域協力会の方、総勢22名が、カレーライスの具材を準備したり、洗い物をしたりと、忙しく動き回っていました。約2時間で、500食作

るとのことで、豚肉20キロ、ニンジン40本、ジャガイモ120個、タマネギ120個、お米38キロを使用しました。

12時半近くになって生徒たちが、順次戻って来ました。無事にゴールした安堵感と空腹感で、皆思いっきりカレーライスをはおぼっていました。おかわりして4杯も食べた生徒もいて、大好評でした。カレーライスを作ってくれた皆様に感謝、感謝です。



横須賀市立中学校対抗ウォークラリー

## 動 報 告

川崎

# 「走って!飛ばして!最幸のみらいへ」

川崎市幸区青少年指導員連絡協議会 会長 田村 京三

幸区青少年指導員連絡協議会は南河原・御幸・日吉の3地区の青少年指導員会で構成されています。各地区でウォークラリー等独自のイベントの開催やパトロールなど積極的に活動していますが、主催事業として区内指導員全員で企画・運営を行っているのが小学生を対象とした「子どもとふれあう紙ヒコーキ大会」です。



幸区リレーカーニバルの様子

この大会は、『青少年に、自発的な参加を促す場を提供し、遊びを通じて地域の人々とふれあうことにより、「思いやりの心」や「協調性」などを養い、情操豊かな青少年を育成するための一助とする』ことを趣旨とし、参加者が自分で折った紙ヒコーキを飛ばし距離を競い合います。競争相手ではありますが、児童同士で協力し合っ

て紙ヒコーキを作成したり、いい記録が出た時に一緒になって喜ぶ姿が見受けられ、とても有意義なイベントとなっています。

また、幸区の一大イベントとして、幸区リレーカーニバルがあります。今年で46回目を数えるこのイベントは、町内会・自治会対抗で様々なリレー競技を一日かけて行う伝統的な催しで、毎年約1,000人も選手の参加があります。

青少年指導員はスポーツ推進委員や子ども会、PTAとともに競技運営にあたり、このイベントを支えています。仲間をつないで走るリレーを通じて区民同士の連帯意識を高め、明るく住みよいまちづくりに貢献しています。

今後もこのような活動を大切にし、青少年の健全育成や地域の活性化に尽力していきます。



(平成30年10月～平成31年3月の予定)

## ◆横浜市

- 紙トンボ、ぶんぶんゴマ体験コーナー(つるみ臨海フェスティバル内)(鶴見区)  
10月20日(土) 午前9時30分～午後3時30分(荒天時は21日(日)に順延)入船公園
- 第9回神奈川区小学校音楽フェスティバル(神奈川区)  
12月8日(土) 午前10時～午後3時45分  
神奈川公会堂(入場無料)
- 第35回横浜かもんやま能(西区)  
11月24日(土) 午後2時開演(午後1時開場)横浜能楽堂  
チケット販売は、横浜能楽堂(045-263-3055)にて受付中
- 第12回西区ハマのウォーキングフェスティバル～川面をたどり、いざ文明開化!～(西区)  
12月2日(日) ※荒天時中止(気象警報発令時)  
(1)ガッツリ!シーサイドコース:午前9時30分スタート  
(2)ゆったり♪リバーサイドコース:午前10時スタート  
スタート会場:戸部公園、ゴール会場:臨港パーク  
一般・高校生以上:300円、小・中学生:100円、未就学児:無料  
10月中旬から、西区役所地域振興課にて受付開始(ウォーキング担当・045-320-8390)
- 第38回ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)(南区)  
11月25日(日) 午後1時～午後3時(予定)  
みなみん(南公会堂)
- チャレンジ・ザ・ゲーム(港南区)  
11月3日(土) 午前10時～午後3時  
港南ふれあい公園
- ほどがやバンドバトル2018(保土ヶ谷区)  
11月17日(土) 午前11時～午後4時  
保土ヶ谷公会堂
- 第42回保土ヶ谷区新春かるた大会(保土ヶ谷区)  
1月27日(日) 午前9時40分～午後4時  
ほどがや地区センター
- つづきウォーク&フェスタ(都筑区)  
11月23日(金・祝) 午前9時～午後3時

センター南駅前すきっぷ広場及び区内各所  
○青少年防災対応力強化研修(戸塚区)  
11月25日(日) 午前8時45分～午後2時(※雨天決行)横浜市消防訓練センター

## ◆川崎市

- 第41回かわさき市民祭りにおけるイベント(川崎市)  
11月3日(土)、4日(日) 午前10時～午後4時(予定)  
第41回かわさき市民祭り会場内(川崎区富士見公園一帯)
- 第29回中原区青少年吹奏楽コンサート(中原区)  
11月3日(土) 午前11時30分～午後4時30分(予定)  
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)(入場無料)
- ディスカバーウォークみやまえ(宮前区)  
10月28日(日) 午前9時～午後1時(予定)  
宮前区役所向丘出張所周辺 ※雨天時は内容を変更して開催(参加費無料)
- 第50回向丘地区青少年美術展(宮前区)  
11月10日(土) 午後1時～午後4時  
11月11日(日) 午前9時～午後2時  
※表彰式:午前10時～ 記念イベント:午前11時～(11日のみ)  
川崎市立向丘小学校アリーナ(入場・見学無料)
- 第14回向丘地区グラウンドゴルフ大会(宮前区)  
3月3日(日) 午前9時30分～午後1時(予定)  
川崎市立白幡台小学校 校庭(参加費無料)
- 第29回麻生区小学生バドミントン大会(麻生区)  
2月10日(日) 午前9時30分開会  
麻生スポーツセンター 大体育室(参加費1人200円)
- 第29回麻生区小学生バレーボール大会(あさおスポーツフェスティバル)(麻生区)  
2月17日(日) 午前9時30分開会  
麻生スポーツセンター 大体育室(参加費1チーム2,000円)

## ◆相模原市

- 第13回さがみはらスポーツフェスティバル2018  
10月8日(月・祝) 午前10時15分～午後3時15分【雨天中止】  
相模原ギオンスタジアム(相模原麻溝公園競技場)

## ○第36回親子ふれあいの広場

- 11月11日(日) 午前10時～午後3時【雨天中止】  
淵野辺公園 芝生広場・樹林広場
- さがみはら子どもの権利の日のつどい  
11月23日(金・祝) 午前12時～午後4時  
ユニコムプラザさがみはら

## ◆横須賀市

- 第13回活動体験発表会  
2月9日(土) 午後2時～午後4時  
横須賀市立青少年会館ホール  
中学校区、研究部会での活動等を発表

## ◆鎌倉市

- 子どもキャンプ  
10月20日(土)～21日(日)  
神奈川県立愛川ふれあいの村
- 中学生作文コンクール  
テーマ:「10年後の鎌倉・歴史や文化のある鎌倉を私はどんなまちにしたいか」

## ◆座間市

- 座間市青少年フェスティバル  
座間市内各中学校  
相模中学校10月20日(土)  
座間中学校11月24日(土)  
南中学校12月1日(土)  
東中学校12月2日(日)  
栗原中学校12月8日(土)  
西中学校12月9日(日)  
※各午前10時～正午

## ◆綾瀬市

- 平成30年度親子手づくり教室  
第1回 1月26日(土) 午前10時～正午(予定)  
第2回 2月2日(土) 午前10時～正午(予定)  
綾瀬市役所 会議室

## ◆真鶴町

- ふれあいの集い  
12月8日(土) 午前10時～正午  
真鶴町民センター 地下駐車場  
中学生と一緒に模擬店等を店出する

## ◆山北町

- ライブ・イン・山北  
12月16日(日) 午後1時30分～午後4時30分  
山北町立生涯学習センター  
高校の軽音楽部による本格的なライブを開催(入場自由)

## 第51回(平成30年度)神奈川県青少年指導員大会開催案内

平成30年11月18日(日) 午後1時から厚木市文化会館で開催されます。

今年の大会は「子どもたちの未来の応援団 ～私たち青少年指導員に求められること～」をテーマに、県央地域内5市1町1村の青少年指導員の皆さんが、力を合わせて大会の準備を進めています。

清川村青龍太鼓の演奏からスタートし、表彰者への感謝状贈呈式へと続きます。

活動事例発表は座間市と綾瀬市の青少年指導員の取組をご紹介します。

また、講演会は、県立青少年センター指導者育成課の川手隆生氏を講師に迎え、「信頼して任せることで、子どもは元気に育つ」をテーマにお話しいただく予定です。

【交通アクセス】小田急小田原線「本厚木」駅下車徒歩約13分

駐車場はありますが、確保しておらず、限りがございますので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

「つばさ」第26期  
編集委員

藁科 文男(横浜地域)  
岸 真介(川崎地域)  
齊藤 一成(相模原地域)  
織田 俊美(横須賀三浦地域・担当理事)  
萩原 正恵(県央地域)

## 編集後記

つばさ編集委員 藁科 文男

「カラーにしたいな」、「紙面に、地域名が沢山入るといいね」、「見出しやカットも工夫したいな」など話は続き、初回の編集委員会は盛り上がりしました。今期の編集委員会は、事務局はもとより委員も新しくなられた方が多く、前例にとらわれずに、「2年かけより良い紙面を目指しましょう」という事でまとまりました。

まずは、本文を親しみやすい書体に代えてみましたが、いかがでしょうか。これから2年、紙面の変化を楽しみにしてください。